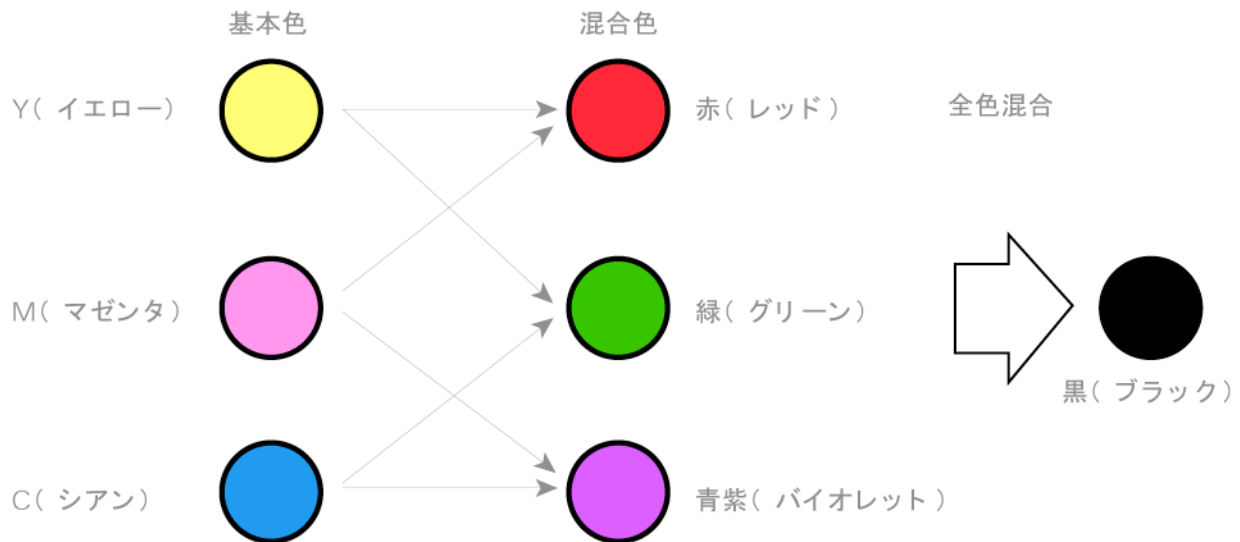


スクリーン印刷における カラー分解用インキのQ & A

スクリーン印刷でのカラー分解印刷は、各種の素材への印刷ができること、またオフセット印刷では得られないインパクトのある印刷物の作成ができます。
耐候性の優れた屋外使用のバナー印刷、自動販売機のダミーラベルなどの特徴ある印刷物が作成されています。
スクリーン印刷で行なわれる、カラー分解用インキとカラー分解印刷に関する内容について御紹介致します。

1. よく使われる語句

Q1	A1
カラー分解印刷とは？	色彩を持った印刷物を作成する印刷。通常はカラー写真などの原稿を色分解し、Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）の色の三原色+K（ブラック）の四つの版を作成し、各色の網点（ドット）の掛け合わせで色彩を表現しています。



Q2	A2
トリクロマチック (Trichromatic) とは？	色の三原色を指す。当社ではカラー分解印刷用に調色されたインキを「TCインキ」として設定しております。

Q3	A3
分解の線数とは？	スクリーン印刷では主に、30～80線での印刷が行なわれます、線数が多いほど網点は細かく精密な印刷ができます。 一インチの間に並んでいる点の数で表われます。

2. スクリーン印刷でのカラー分解印刷時には以下のような問題点が発生します。

- ①スクリーン版の目が詰まる（版詰まり）
- ②ドットゲイン
- ③ドットロス

Q1	A1
版詰まりとは？	スクリーン目（画像部の網目）が詰まって、インキの転移が不完全となる現象。原因として、インキの版上での乾燥が速すぎることで、異物の混入、インキの転移性不良などが挙げられます。

Q2	A2
ドットゲインとは？	印刷された網点の太りのこと。スクリーン版の紗の形状よりも広がった網点をいいます。一般に、印圧が高く、インキが軟らかいと起こりやすい傾向があります。高速でのスクリーンの印刷では印圧が高めとなる為に、インキ粘度をやや高めに設定する必要があります。

Q3	A3
ドットロスとは？	ドットゲインの逆。網点の細りのこと。スクリーン印刷では、インキの流動性、紗抜け性、版詰まり状態によって引き起こされます。

3. カラー分解印刷に要求されるインキ性能について

Q1	A1
スクリーン印刷でカラー分解印刷に適したインキとは？	インキの紗抜け（転移）性が良いこと、印刷を繰り返した時にインキの物性が一定で変化しないことにより、印刷物のカラーバランスが変化しないこと等が挙げられます。

Q2	A2
色再現性の良い基本色とは？	カラー原稿に限りなく近い印刷物の作成ができるよう、当社の各ベース色はISO規格に適合する「ジャパンカラー」の標準色に限りなく近づけた設定色となっております。

Q3	A3
スクリーン印刷における「再溶解性」とは？	版上で半乾きになったインキが、次に供給される（版の上に被せられる）インキによって再び溶解する性能のこと。この性質をもつインキはスクリーン紗の目が詰まり難い傾向にあります。 ※VTCインキではこの性能を付与しております。

お問い合わせ：帝国インキ製造株式会社／研究所

TEL：03-3800-6760 FAX：03-3800-6603

E-mail：sale@teikokuink.com